

各団体会長 様
事務責任者 様

足立区剣道連盟
会長 矢野 和久

事務連絡

下記につきまして、ご連絡いたしますので、宜しくお願ひお致します。

記

1. 第27回足立区剣道祭の審判員等依頼について

令和4年11月27日(日)足立区総合スポーツセンター小体育館にて開催されます首記大会の審判員につきましては、各会より選手として参加されます剣道5段以上の先生方に例年のように審判員をお願いします。

なお、当日は2会場を実施致します、役員、係員、審判員の方がたは午前8時30分に集合をお願い致します。皆様方のご協力宜しくお願ひ致します。

○試合場担当 試合場の係員5名の派遣宜しくお願ひ致します。

第一試合場	長門剣友会	第二試合場	島根剣友会
-------	-------	-------	-------

○接 待

総務委員会でのご対応宜しくお願ひ致します。

○駐車場・警備

飯塚 清、大友 勝芳、湯田 勇様宜しくお願ひ致します。

○庶 務

海藤 隆俊 様宜しくお願ひ致します。

(お願ひ)

○試合場係、接待、駐車場係、庶務及び救護の方々には印鑑を忘れないよう持参してください。

○選手・役員・係員等は「健康チェックシート」を必ず持参のこと。

2. 第25回剣道形演武大会の「試合実施要領」の送付

試合参加団体および審判員は熟読され参加して下さい。

※後日形審判員をお願いします先生方には、「日本剣道形演武大会」の試合実施要領を参照され審判に臨んでください。

3. 東京都少年剣道大会選手候補および強化稽古実施(5/2/12開催葦)

	学年	氏名	学年	所属	指導者
1	小学4年以下女子	早苗寿々夏	小4	葦立	総監督
2	小学4年以下男子	奥村拓生	小4	葦立	南澤康賀(青井)
3	小学5・6年女子	海野有紀	小6	葦立	監督
4	小学5・6年男女子	日下泰一	小6	振武	夏加彩乃(鹿一)
5	小学5・6年男女子	滝頭里斗	小6	昇陽	コーチ
6	中学女子	秋山 栞	中2	錬心	清水秀俊(瀏江)
7	中学男子	石田琉稀	中3	青井	斉藤弘美(修武)

※11月1日から毎土・火曜日に強化稽古を実施します。

以上

第 25 回日本剣道形演武大会

【試合実施要領】

1. 試合者について

- (1) 各部とも木刀により行う。
- (2) 服装は剣道着・袴とし、垂れをつける。(垂には所属団体と姓を記した名札をつける。)
- (3) 所作および試合の体形について (図 1 参照)
 - ① 試合開始までに所定の位置で対戦チームと立礼を行った後、打太刀・仕太刀相互の座礼を済ませ、立会の間合(9歩の距離)に立つ。
 - ② 立会の間合にて上座に礼をして向い合い、主審の「始め」の宣告により相互の礼を行い、試合に入る。
 - ③ 主審の「判定」の宣告後、上座に礼をして退場する。
 - ④ 退場後、所定の位置で座礼および立礼を行なう。
 - ⑤ 不戦勝の際には、試合者は試合場の立会の間合い(仕太刀側)に横に揃って立ち、一礼する。宣告を受けた後、一礼をして退場する。

2. 審判員について

- (1) 服装は紺の剣道着・袴とする。
- (2) 所作等について (図 1 参照)
 - ① 試合の開始時は、一礼した後、所定の席に座る。
 - ② 試合開始時には、主審は起立し、試合者が上座の礼を済ませ、互いに向き合った時「始め」と宣告する。宣告後は着席。
 - ③ 試合終了後、主審は起立し、左右の手に審判旗を持ち、「判定」と宣告した後、勝者の旗を真上に上げて表示する
 - ④ 副審は、主審が審判旗を持つのに合わせて左右の手を紅白の審判旗の柄に添え、主審が「判定」と宣告した後、着席のまま勝者の旗を真上に上げて表示する。
 - ⑤ 主審は、上がった旗を確認し、「勝負あり」と宣告する。
 - ⑥ 主審と異なる旗を副審が2本上がったときは、主審は旗を上げ直して「勝負あり」と宣告する。
 - ⑦ 判定には、引き分け、棄権の表示をすることはできない。
 - ⑧ 不戦勝の宣告については、主審は起立し、勝者の旗を真上に上げて「勝負あり」と宣告する。
 - ⑨ 交代は、自席横で行う。
 - ⑩ 第一試合開始時および決勝戦開始時とも審判は正面に礼を行わない。
 - ⑪ 所作は、一回戦から決勝まで同じ。
 - ⑫ 机上の上にメモ用紙、鉛筆を置く。

3. 演武本数について

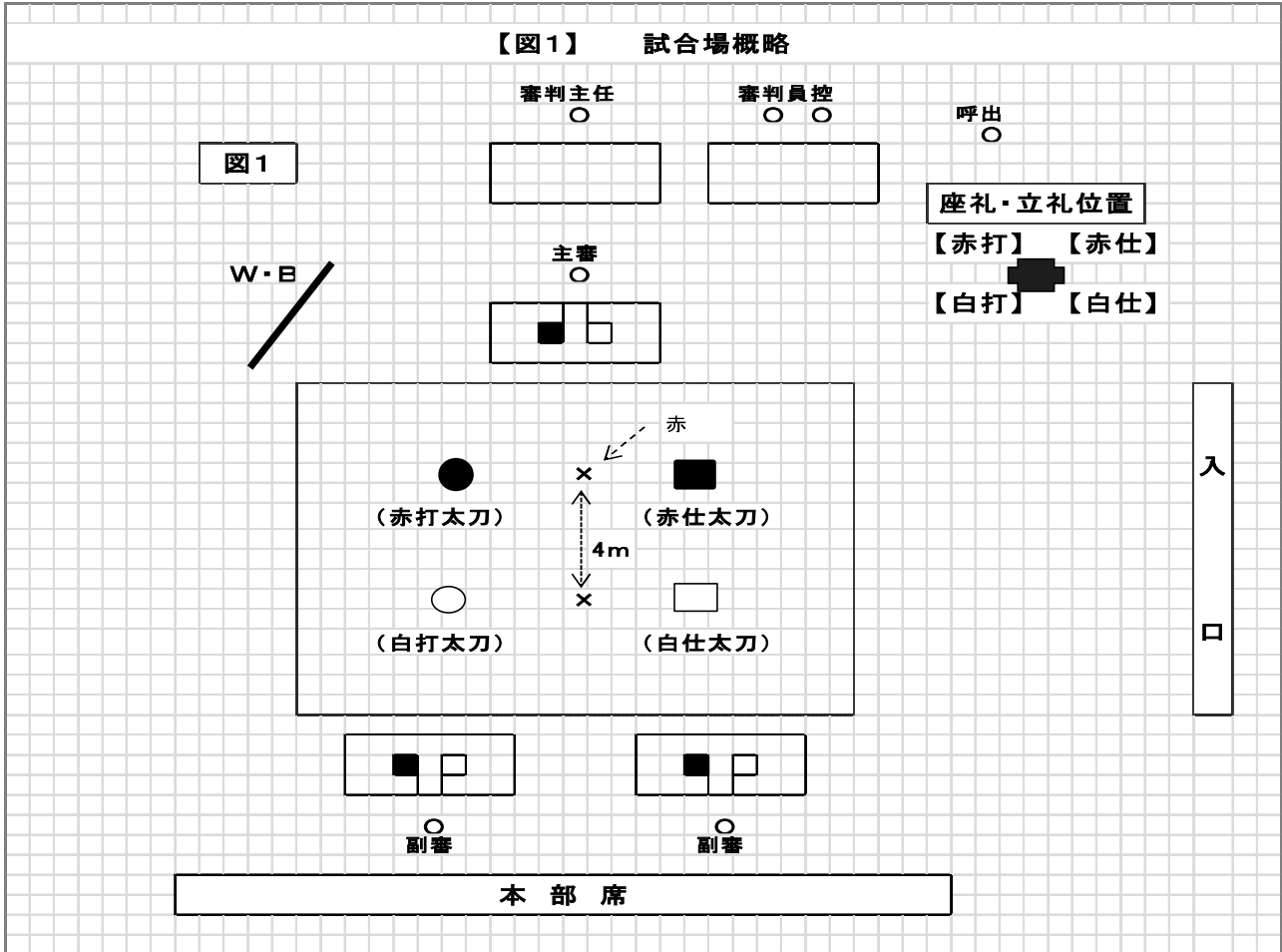
- (1) 三段以下の部
1 回戦から決勝戦まで、太刀 7 本。
- (2) 四・五段の部および六・七段の部
1 回戦から決勝戦まで太刀 7 本・小太刀 3 本。

4. 試合場は下記のとおり作成する。

① 剣道祭で使用した試合場枠および開始線は撤去する。

② 試合場の中心（×印）は、主審の手前の（×印）は赤で表示する

【図1】 (試合場概略)



日本剣道形試合 評価項目

1. 礼・法、五つの構え、気位
2. 順序の正確さ 打・仕の兼合い 緩急・強弱
3. 充実した気迫で一足一刀の間合から一拍子で打突、刃筋
4. 正しく振りかぶり物打で打突 足さばき 気合
5. 残心（理合の完成度の表現）

日本剣道形審査上の着眼点

財団法人 全日本剣道連盟

- 一、立会前後の作法、立会の所作、刀の取扱いを適切に行っているか。
- 二、五つの構え、小太刀の形における半身の構え、入身の所作を正しく行っているか。
- 三、目付け、呼吸法等を心得、終始充実した氣勢、氣迫をもって合気で行い、段位にふさわしい迫真性、重厚性が見受けられるか。
- 四、打太刀、仕太刀の関係を理解し、原則として仕太刀は打太刀に従って始動しているか。
- 五、太刀の形においては、「機を見て」小太刀の形においては、「入身になろうとするところを」とある打突の時機は適切であるか。
- 六、各本ごとの理合を熟知し、技に応じた打突の度合い、緩急強弱を心得一拍子で行っているか。
- 七、打太刀は、一足一刀の間合から打突部位を打突し、仕太刀は物打で打突部位を確実に打突しているか。
- 八、太刀を振りかぶる度合いを心得、振りかぶり過ぎて剣先が両拳の高さより下つてはいないか。
- 九、足さばきはすり足で行い、打突した時、後ろ足を残さず前足に伴ってひきつけているか。
- 十、仕太刀は打突後、十分な気位で、残心を示しているか。
打太刀は仕太刀の十分な残心を見届けてから始動しているか。

コピーして使用する。
※当日必ず持参する。

※当連盟の諸行事に参加する全ての者は、本用紙を記入しご提出願います。

健康チェックシート

施設を利用される団体の代表者の方は、施設を利用する全員分の体調を確認し、以下の項目にチェックをお願いします。なお、チェック項目に「有」の該当がある方は施設のご利用をお控えください。

(当日および利用前11日間における以下の事項の有無)

有 無

- 平熱を超える発熱
- せき、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ、息苦しさ
- 嗅覚、味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等

(その他、以下の事項の有無)

有 無

- 当日および利用前8日間に、新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との接触がある

令和 年 月 日

所属団体	お名前	保護者のサイン	連絡先電話番号	当日の体温
				℃

※保護者のサインは、児童の参加等の場合に限りません。

足立区剣道連盟

(足立区地域のちから推進部スポーツ振興課)

足立区

(令和4年10月25日改刷)